

町劇がもたらした、数々の成果を探る

住民の夢だった文化会館の建設一。



現在の胆沢文化創造センター

夢でもあった文化会館の建設を強力に後押ししたのは、胆沢劇場の活動でした。

センターの目玉は800席の客席をもつ大ホール。間口17m、奥行14mの舞台は、この規模のホールとしてはトップクラスの広さを誇ります。鑑賞する側だけでなく、作り手・演じ手側にとっても使い勝手の良い、まさに胆沢劇場仕様ともいべきホールとして設計されました。ステージ上手側には、胆沢劇場専用の150平方mの作業室も設けられています。

同ホールのこけら落としは、第7回胆沢町民劇場。以後、数々の感動の舞台がこのステージで繰り広げられており、胆沢劇場は新しいステージに突入しました。



使い勝手の良い広いステージが自慢

■胆沢文化創造センター建設

昭和60年の第1回公演以降、毎年体育館で開催してきた町民劇場。年々盛り上がりを見せてくるにつれ、大きなセットや趣向を凝らした装置を作りたいが、舞台が狭いので思うようにならない。「音響設備が整っていないので、声が後ろまで届かない」といった問題が起きてきました。

また、胆沢各地で盛んな伝承芸能活動の発表の場が欲しいという声もあり、

文化会館の必要性が高まってきていました。

文化施設の建設を望む声は、胆沢劇場の活動に参加する人が増えれば増えるほど大きくなり、活動が活発になればなるほど、切実に聞かれるようになってきていました。

町民の間にも「劇場をちゃんとした会館で見てみたい」という気運が高まり、平成3年春、ついに待望の胆沢文化創造センターが完成。町民の長年の

全国にはばたく「ジュニアミュージカル」



第24回国民文化祭での堂々とした演技

「すごく楽しかった！来年もまたやりたい!!」と充実した笑顔を見せ、以後の活動へとつながっています。

ミュージカル参加者にはどちらかというと引込み思案な子や、スポーツは得意ではないが、何か体を動かしたいという子も多いようです。「心のよりどころ」的な場にもなっているようで、ミュージカルをとおして自信がつき、いろいろな活動に対して積極的になったり、言いたいことを言えるようになったりするなどの効果もあるようです。参加者は、ダンスなどの「表現力」を磨かれると同時に内面的にも成長をします。

胆沢劇場からミュージカルに飛び込み、また大人になってから胆沢劇場に参加するという例も多く、良い循環作用がみられます。

胆沢劇場は、いさわジュニアミュージカルスクールの大土台。ジュニアミュージカルは、劇場があったからこそ誕生した、子ども向けの新しい文化活動への挑戦の場として注目されています。

■昨年の第24回国民文化祭でもミュージカルの祭典に出演。全国デビューも果たし、来年活動10周年を迎えるいさわジュニアミュージカルスクール

胆沢劇場は、昔から子役の参加希望者が多くいました。しかし、劇場の対象者はあくまで大人がメインで、子どもたちではありません。ただ例年何十人と子役への応募があるため、こういった意欲に応える場、子どもにスポットが当たる場の創設が期待されていました。これまでの中央からの受信

だけでなく、地方から文化活動を発信してもいいのではないかの思いもありました。

目に止まったのは滝沢村を本拠地として活動している劇団ゆうの取り組み。各地に出向いて指導するという一方で、最初は胆沢町民大学の講座で挑戦することにしました。

公募してみると、2、3日で定員がいっぱいになるくらい応募が殺到し、子どもたちの期待の高さが裏付けられました。講座を終えた子どもたちは

豊かな農村で「日本一の田舎」

■農村アメンティコンクールで最優秀賞

平成3年、第6回農村アメンティコンクールで、胆沢町が全国最優秀賞に選ばれました。翌4年の第8回公演は、決して外向きにやっている訳ではない胆沢町民劇場が、外から注目を集めた公演となりました。

この賞は当時の国土庁が主催する「農村地域における快適環境保全・形成活動表彰

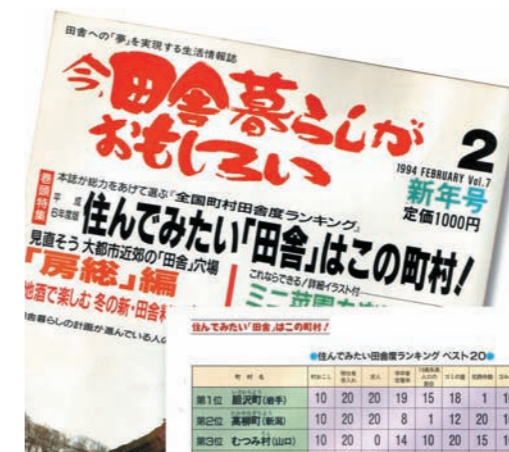
で、全国2000余りの農村の中から、豊かで住みやすいまちを選ぶものです。

生活基盤や産業、ソフト面など幅広い角度から厳しい審査が行われます。つまり胆沢町は、農村の快適度で日本一に輝き、まさに「日本一の田舎」といべきお墨付きをもらったと言っても過言ではありません。

この受賞は、全国でも珍しい散居集落と

いう点はもちろんのこと、町民の手作りによる胆沢劇場の取り組みが大きく評価されました。

農村づくりを進めながら、町民が一体となって文化活動に取り組んでいることが、真の豊かな農村の姿として高い評価を受けたのです。



学習研究所発行の「今、田舎暮らしがおもしろい」という雑誌でも、住みたい農村の第1位に胆沢町が選ばれました(平成5年12月発行)。都会の人があこがれる、自然あふれる町として全国に知られる存在となりました。この中でも町民劇場は、地域に根ざした文化活動として大きく貢献しています。

順位	町村名	人口	就業率	所得	環境	文化	生活	計点	
第1位	胆沢町(青森)	10	20	20	19	15	18	110	123
第2位	高橋町(新潟)	10	20	20	8	12	20	10	111
第3位	むつみ村(山口)	10	20	0	14	10	20	15	109